Ⅴ 統計豆辞典

年間成長量

年間成長量とは、一年間にどれだけ成長したかを示すものです。例えば、調査時の2001年の17歳（昭和58年度生まれ）の身長から、一年前の16歳時の身長を引いたものを、昭和58年度生まれの16歳時の身長の年間成長量といいます。

特集の図１，図２（P.２）では、昭和58年度生まれ（2001年時17歳）の各年齢の年間成長量と25年前の昭和33年度生まれ（1976年時17歳）の各年齢の年間成長量とを比較し、差し引いたものをグラフにしています。つまり、男子16歳時の身長の年間成長量を例にとると、昭和58年度生まれが0.5㎝成長したのに対し、昭和33年度生まれは0.9㎝成長しているため、グラフ上では－0.4㎝となっています。したがって、いくら年間成長量が多くても、比べる対象も同様に多ければグラフ上の数値は０に近づくことになります。